

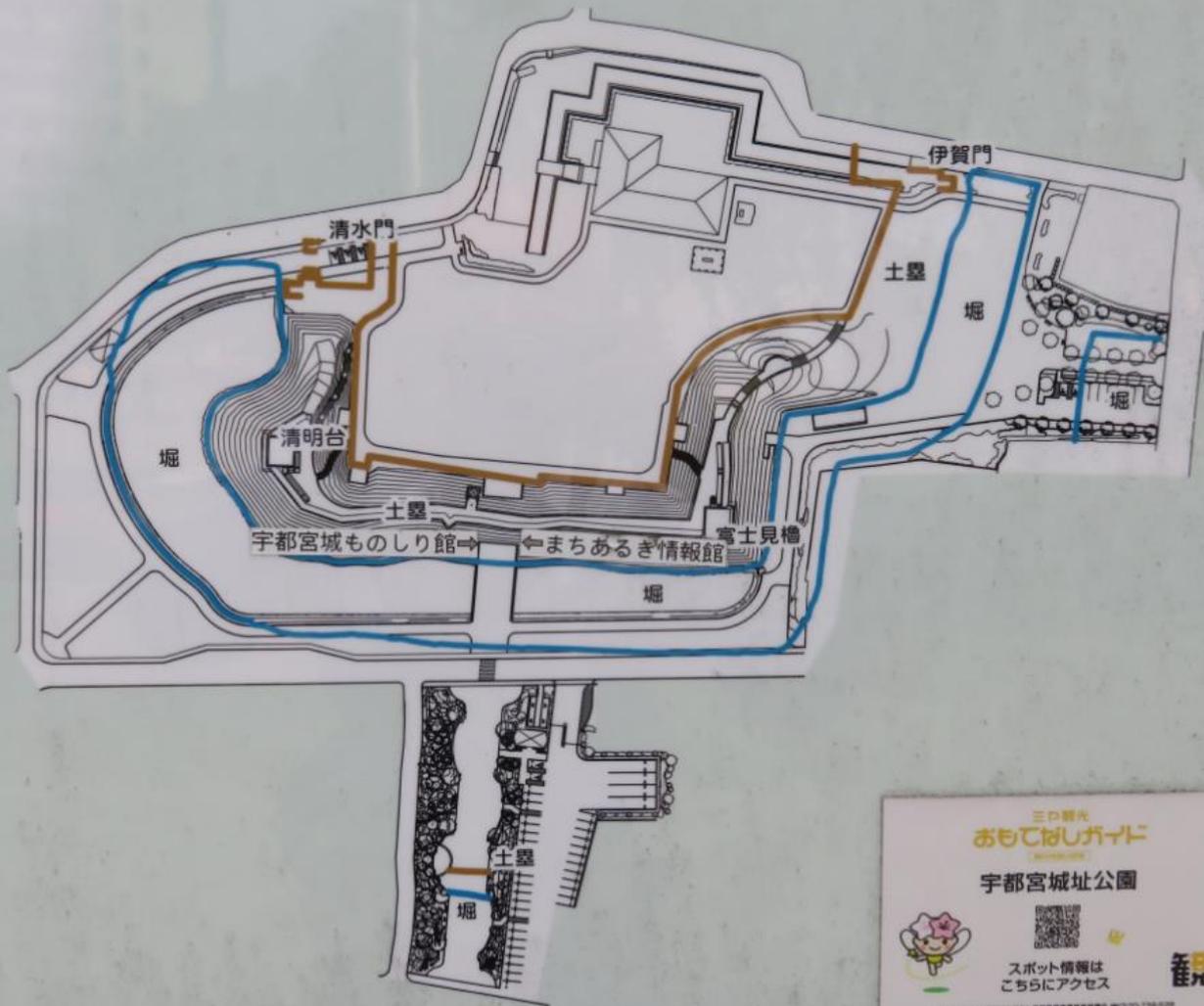
宇都宮城跡（宇都宮市）

築城年代：康平6年（1063年）、築城者：藤原宗円

関東を代表する名城、宇都宮城は戊辰戦争で建物の大半が焼失し、また戦後の乱開発によって残念ながら本丸の一部を残すのみとなってしまった/
現在は宇都宮城址公園として本丸の一部が復元整備されている



発掘調査で確認された堀・土塁などの位置



三ツ岩元
おもてなしガイド
宇都宮城址公園



スポット情報は
こちらにアクセス



©2015 (株) 宇都宮おてなしガイド 発行 発行所 宇都宮城址公園 電話 028-738-5328

ここは西側の「おほり橋」

 video



ここは、近世宇都宮城の本丸があったところです。

宇都宮城址公園は、歴史資料や発掘調査結果に基づいた本丸の一部復元、中心市街地の活性化の拠点づくり、防災の拠点づくりを3つの柱として整備したもので、復元した土塁や堀、櫓、土塀は、江戸時代中期の姿を現代によみがえらせたものです。

宇都宮城のはじまりは、平安時代の後期に築かれた館だといわれています。中世には宇都宮氏が500年にわたって城主をつとめ、戦乱の世を乗り切っていきます。江戸時代には譜代大名の居城として威容を誇りました。また、釣天井伝説の舞台、関東七名城の一つとしても有名です。

この城址公園は、宇都宮の新しいシンボルであり、次代を担う子どもたちに宇都宮の歴史を伝えるとともに、市民や多くの来訪者の憩いの場です。

これは「おほり橋」から城壁(土塁)と堀を見たところ/当時、ここに橋は無く、前方のトンネルのようなものも無かった

[video](#)



トンネルの向こうが本丸跡/左右の構造物は「宇都宮城ものしり館」・「まちあるき情報館」



左手に西側の堀を見たところ



同じく、右手に西側の堀を見たところ



振り返って、西方向を見たところ/前方は駐車場となっているが、堀と土塁が復元整備されている

[video](#)



南方向に進んだところ/堀は前方で東方向に折れている/正面は富士見櫓



富士見櫓を見上げたところ



ここが本丸跡の南西角

[video](#)



そこから西側の堀を見たところ/正面が「おほり橋」

[video](#)



さて、これは西寄りの南側から城壁(土塁)を見たところ



左手を見たところ/富士見櫓が見える

 [video](#)



さて、「おほり橋」から北方向へ進もう/この先の北西角のエリアが二の丸広場（二の丸跡）

[video](#)



このエリアが二の丸跡



そこで、右手を見たところ



同じく、左手を見たところ



堀越しに清明台を見たところ

 [video](#)



そこで、右手を見たところ



同じく、左手を見たところ



堀に沿って進み、これは北東側から清明台を見たところ

[video](#)



そこで、右手を見たところ



同じく、左手を見たところ



その先には説明板が立っていた

 video



堀 Moat

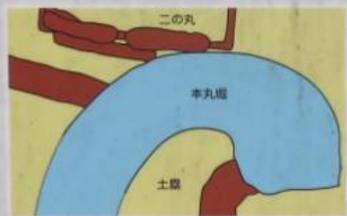


堀跡出土状況

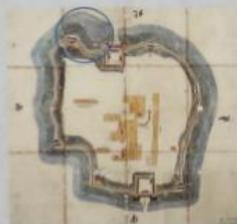
復元された宇都宮城本丸の堀は、17世紀前半に掘られたものと考えられています。

古い文献には幅12間（21.8メートル）と記されています。

発掘調査で、堀は最大で幅27メートル、深さは最大で7メートルあったことが確認されています。



発掘調査実測図
■ 近世の堀 ■ 中世の堀



「宇都宮城本丸将軍家御泊城ノ筋建物ノ図」

The moat of the Utsunomiya castle keep is thought to have been constructed in the first half of the 17th century. Old documents indicate that it was 21.8 meters in width. Archaeological investigation has confirmed that the moat was a maximum of 27 meters wide and 7 meters deep.

その更に少し先には清水門についての説明板があった/地面にその位置が表示されている

[video](#)



清水門 Shimizu-mon



「宇都宮城本丸將軍御泊城ノ跡建物ノ図」部分



「宇都宮城本丸將軍御泊城ノ跡建物ノ図」

宇都宮城本丸正面の出入口が清水門しみずもんです。
日光社参にっこうしゃさんの時には、将軍もこの門を通過して本丸おなりごてんの御成御殿に向かったのです。

清水門の位置・規模は、絵図などに基づいて地面にその位置・規模を表示しています。

Shimizu-mon is the front gate of the main enclosure of the Utsunomiya castle. Shogun passed through this gate when he visited Nikko shrine. The position and the size of Shimizu-mon is indicated on the ground based on the pictorial diagram.

そこで左手を見ると、ここが本丸跡/左前方は富士見櫓



これはその更に左手（南方向）を見たところ

[video](#)



その前方に清明館が建っている/資料館のようだ





これは清明館の南側で、西方向に土塁を見たところ

 [video](#)



そこで、右手を見たところ/前方は本丸跡



同じく、左手（南西方向）を見たところ



さて、前方（西方向）の土塁を登って富士見櫓へ進もう

[video](#)



通路が整備されている



左手を見下ろしたところ/右上は富士見櫓



右手に本丸跡を見下ろしたところ/前方は清明台



正面が富士見櫓



左手を見下ろしたところ



説明板が立っている



富士見櫓 Fujimi-yagura



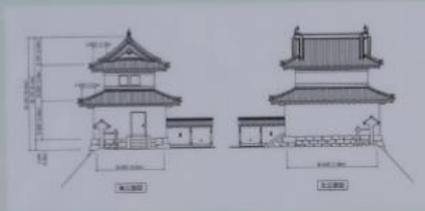
「宇都宮城本丸将軍家御泊城ノ節建物ノ図」部分



「宇都宮城本丸将軍家御泊城ノ節建物ノ図」

宇都宮城本丸の土塁南西部にあった櫓で、江戸時代の絵図には二階建て瓦葺きで描かれており、広さ三間（5.9メートル）×四間（7.9メートル）と記録されています。

富士見櫓の名のとおり、まわりに高い建物がなかった江戸時代には、遠く富士山の姿が望めたと考えられます。



Fujimi-yagura was located in the south-west of the main enclosure and it is illustrated as a two-storied building the size of 5.9 m x 7.9 m with roof tiles.

From Fujimi-dai, as its name suggests, they must have seen the Mt. Fuji in the Edo period when no tall building were there.

富士見櫓の内部をみよう



二階へは立ち入り禁止

[video](#)



これは富士見櫓の模型





これは富士見櫓を出て、本丸跡を見下ろしたところ



そこで、右手を見たところ



その土塁を見たところ



同じく、左手を見たところ/前方は清明台



その土塁を見たところ



これは富士見櫓から清明台方向へと土塁上を進んで、本丸跡を見下ろしたところ



これが清明台

[video](#)



そこで、振り返って富士見櫓方向を見たところ

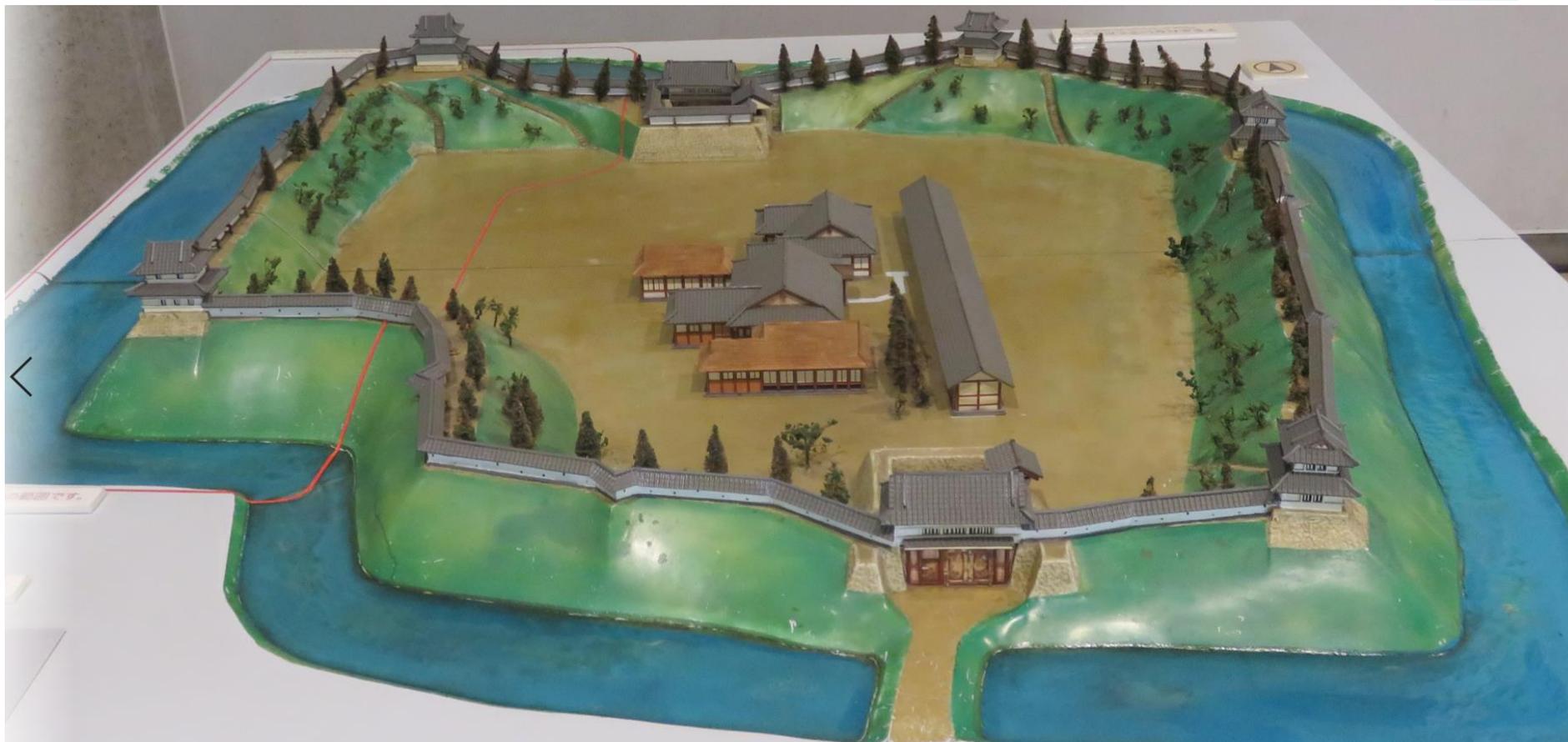


富士見櫓へと戻ったところ

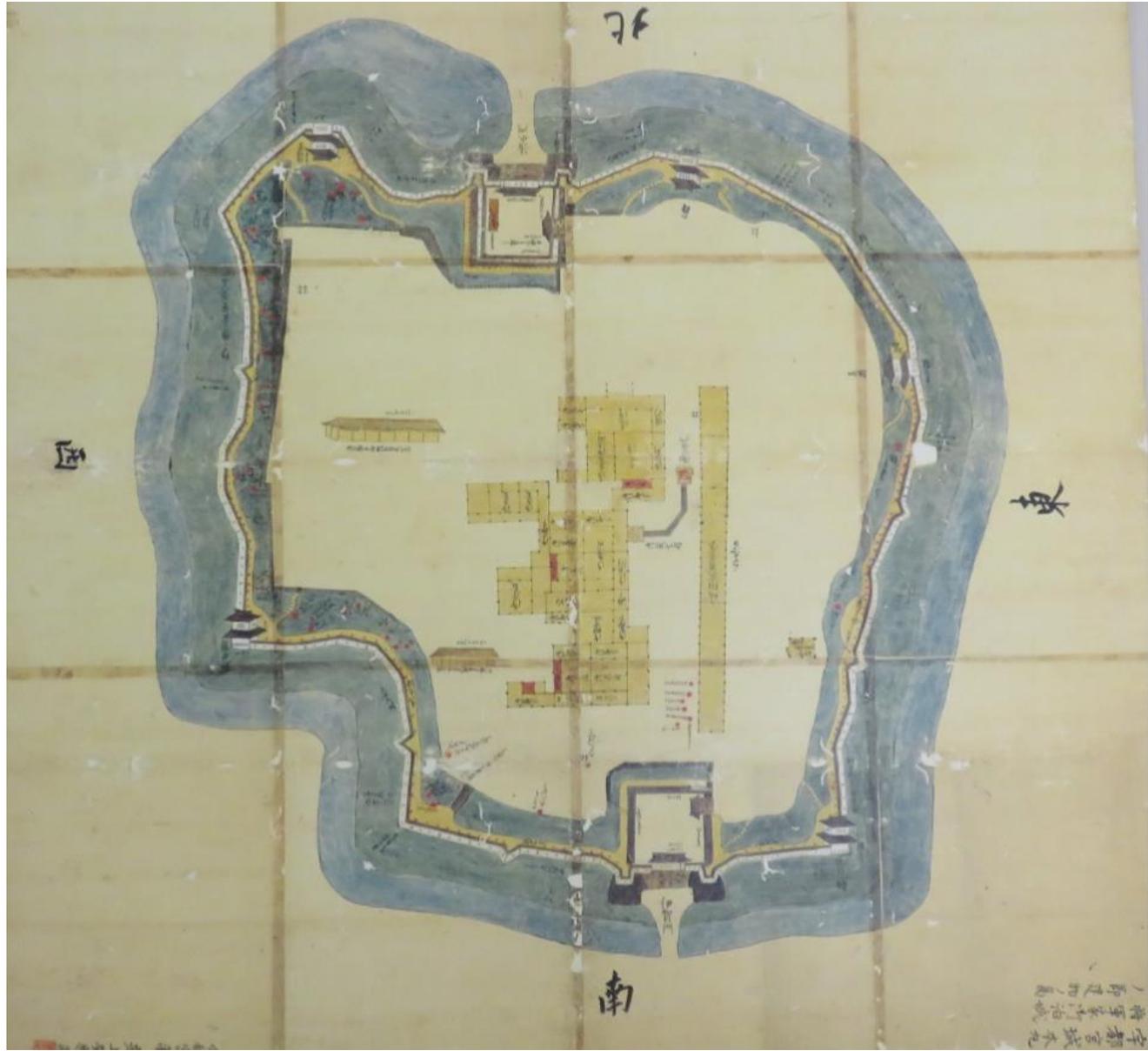


さて、これは「宇都宮城ものしり館」に展示されている本丸の模型/左手の赤線内が復元範囲

[video](#)

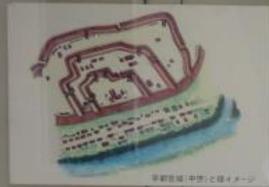


宇都宮城本丸將軍家御泊城ノ節建物ノ図/宇都宮市指定文化財



宇都宮城発掘調査出土遺物

宇都宮城
発掘調査出土遺物



宇都宮城発掘調査出土遺物
宇都宮城発掘調査出土遺物
宇都宮城発掘調査出土遺物





宇都宮御城内外絵図/平安時代に、宇都宮氏の祖となった藤原宗円が築城したらしい/その宇都宮氏は豊臣秀吉によって滅ぼされたが、江戸時代以降も城と城下町は大改造され、現在の宇都宮の街並みの原型がつくられたと云う/しかし、戊辰戦争で建物の大半が焼失し、太平洋戦争と戦後の乱開発によって、残念ながら本丸の一部を残すのみとなっている/戊辰戦争では新政府軍が籠る宇都宮城を、新選組の土方歳三率いる幕府軍が、守りの堅い北側の大手門からではなく（北側には陽動作戦として鉄砲隊を仕掛けた）、南東側から浅い田川を渡って直接本丸の南側から攻め込み、落城させたと云う



参考ホームページ

<http://jyokakuzukan.la.coocan.jp/009tochigi/114utsunomiya/utsunomiya.html>

<http://yogoazusa.my.coocan.jp/utunomiyat.htm>

<https://sites.google.com/a/onodenkan.net/lie-dao-cheng-zhi-ji-xing/li-mu-xian/yu-dou-gong-cheng>

<http://www.takakurashoten.sakura.ne.jp/castle/kantou/utunomiya/utunomiya.htm>

http://hanatanbou2.web.fc2.com/utunomiya_zyo.htm

<http://marineblueshirozemetabearuki.blog.jp/archives/39272676.html>

